

## 第11回九州地区国立大学間合宿共同授業報告書

<https://doi.org/10.15017/21656>

---

出版情報：九州地区大学一般教育研究協議会議事録. 11, 1986-11-10. 九州大学教養部  
バージョン：  
権利関係：

## 編集後記

- ▶ 第11回合宿共同授業の報告書、大へんお待たせいたしました。。異例づくめの渡嘉敷合宿共同授業でしたが、それだけに参加者にはとても印象深かったことがうかがえます。表紙の色は、沖縄の空と海にちなんで青にしました。
- ▶ なかでも台風8号との格闘は、船上にいた人たちはもちろんのこと、当番校の琉球大学、主管校の九州大学の各関係者にとっても忘れることのできないものでしょう。こうした障害を克服して合宿共同授業を成功に導くため、琉球海運株式会社やNHK沖縄放送局、国立沖縄青年の家、渡嘉敷村等、地元の方々のひたかたならぬ御尽力があったことに対し、改めて感謝いたします。
- ▶ この報告書の中に写真や記事（の一部）の借用を認めて下さった国立沖縄青年の家（グラビアに青年の家全景の写真）と、琉球新報社、沖縄タイムス社（それぞれ記事の一部をカット代りに転載）に厚く御礼申し上げます。
- ▶ 本報告書では、「学生の感想」として数篇を掲載しましたが、ほとんど総ての参加者の思いを代表する内容ですので、筆者の氏名と所属大学は割愛しましたことをお断りいたします。
- ▶ 来年の第12回は、7月11日～15日（4泊5日）の期間に九重（一校制、当番校九州大学）で開催することがすでに決まっています。そして、この12月11日（木）の企画委員会ではメインテーマや運営の基本大綱が決められる予定です。いっそう充実した合宿共同授業にしたいものです
- ▶ 最後になりましたが、今回の当番校琉球大学のお骨折りと国立沖縄青年の家の御協力に対し、改めて厚く御礼申し上げます。

〔九州大学：安藤延男〕

発行年月日	昭和61年11月10日
発行者	九州大学教養部
	〒810 福岡市中央区六本松 4-2-1
電話	(092) 771-4161